

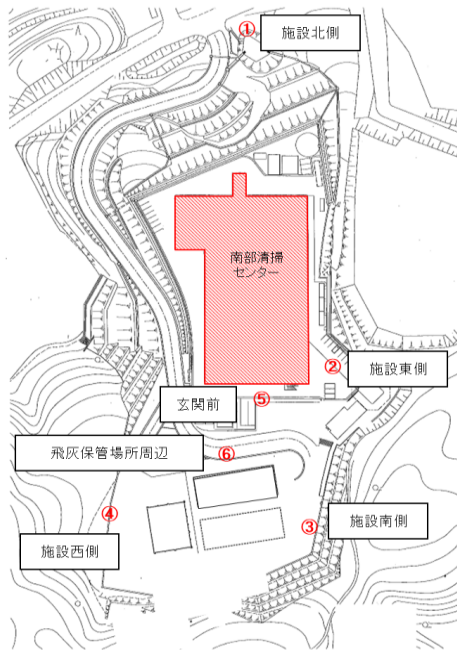
廃棄物処理施設におけるモニタリング結果 (7月)

- 1 南部清掃センター敷地境界の空間線量
- 2 南部清掃センター焼却灰放射能濃度
- 3 南部清掃センター排ガス放射能濃度

いわき市 生活環境部 清掃管理事務所

1 南部清掃センター敷地境界の空間線量

南部清掃センター敷地境界の空間線量測定結果(令和7年7月)



[マイクロシーベルト/時]

測定場所 月日	① 施設北側		② 施設東側		③ 施設南側		④ 施設西側		⑤ 玄関前		⑥ 飛灰保管場所周辺	
	1cm	1m	1cm	1m	1cm	1m	1cm	1m	1cm	1m	1cm	1m
7月18日(金)	0.08	0.06	0.06	0.05	0.07	0.06	0.06	0.05	0.08	0.08	0.08	0.06

●空間線量基準値:0.23マイクロシーベルト/時

※0.23 $\mu\text{Sv/h}$ は、16時間の屋内(木造)、8時間の屋外活動の生活パターンを想定した場合、年間追加被ばく線量を1mSvにするための指標となる空間線量率0.19 $\mu\text{Sv/h}$ に、自然放射線(日本平均は0.04 $\mu\text{Sv/h}$)を加えた数値です。

測定器 : ALOKA製シンチレーションサーベイメータ TCS-1172型

2 南部清掃センター焼却灰放射能濃度

南部清掃センター焼却灰放射能濃度測定結果

単位：ベクレル／kg

月日	核種	主灰(燃えがら)			飛灰(バグフィルで捕集された灰)			備考
		Cs-134	Cs-137	Cs計	Cs-134	Cs-137	Cs計	
7月18日 (金)	1号炉	検出せず	94	94	検出せず	350	350	(株)クレハ分析センター
	2号炉							
	3号炉							
	1号炉							
	2号炉							
	3号炉							

分析業者：(株)クレハ分析センター

測定方法（事故由来放射性物質により汚染された廃棄物の処理等に関するガイドライン）

（平成25年3月 第2版 環境省）第5部 放射能濃度等測定方法ガイドラインに準拠

装置名 Ge半導体検出器：SEIKO EG&G社製 GEM20P4-70

波高分析装置：MCA527

焼却灰等の取扱いに関する国の基準

セシウム134及びセシウム137の合計	保管・処理の概要	取扱い
100,000ベクレル/kg超	放射線を遮へいできる施設で保管	特定廃棄物
100,000ベクレル/kg以下～80,000ベクレル/kg超	放射線を遮へいできる施設で保管又は管理型最終処分場に仮置き	
8,000ベクレル/kg以下	管理型最終処分場に埋立処分	通常の廃棄物

3 南部清掃センター排ガス放射能濃度

南部清掃センター排ガス放射能濃度測定結果

単位：ベクレル／立方メートル

月日	核種	Cs-134	Cs-137	Cs合計	備考
7月15日 (火)	1号炉	検出せず	検出せず	検出せず	(株)クレハ分析センター
	2号炉				
	3号炉				
	1号炉				
	2号炉				
	3号炉				

分析業者：(株)クレハ分析センター

測定方法（事故由来放射性物質により汚染された廃棄物の処理等に関するガイドライン）

（平成25年3月 第2版 環境省）第5部 放射能濃度等測定方法ガイドラインに準拠

※放射性セシウムの排ガス規制値は、同じ人が0歳～70歳まで、毎日その空気を吸っても、被ばく量が許容値（年間1mSv）以下になるように設定されています。

種類	判断基準値
セシウム134	20ベクレル/㎡以下
セシウム137	30ベクレル/㎡以下